

中部国際空港二本目滑走路は必要性も採算性もない大型開発事業 わしの議員



12月議会最終日(12月20日)、自民党などが提案した「中部国際空

港二本目滑走路の建設促進についての意見書」にわしの議員が反対討論を行いました。

わしの議員は、①中部国際空港の旅客数が需要予測の1380万人を大きく下回っていること、②19年のラグビーワールドカップ、20年のワールドロボットサミット、26年のアジア競技大会などで旅客数が増えたとしてもイベントが終われば通常の利用状況に戻ること、③滑走路のメンテナンスも他の空

港でも中部国際空港と同じように、深夜に貨物便の利用と合わせて行っていること、④大規模改修も、滑走路1本の他の空港では夜間などの運用時間外に行ったり、仮滑走路を整備して実施していることを示し、「2本目滑走路の事業費は3000億円もの巨大事業と言われており、2本目滑走路を造ることは、必要性も採算性もない過大な大型開発事業と言わざるを得ないと、意見書に反対を表明しました。

すべての請願の紹介議員に 3件の請願を採択、4件は不採択

12月議会には、①「平成31年度愛知県私学振興予算の充実についての請願」、②「平成31年度愛知県私立幼稚園関係予算の充実についての請願」、③「『教育の公平』をめざして、学費と教育条件の公私格差を抜本的に是正するために、私学助成の充実を求める請願」、④「『消費税10%増税の中止を求める意見書』採択を求める請願」、⑤「安心して子どもを生み育てられるよう保育の公的責任の堅持と保育・学童保育施策の拡充を求める

請願」、⑥「すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよう学校をつくるための請願」、⑦「日本軍『慰安婦』問題の解決をすすめるために、愛知県議会が国に対して解決をするための意見書を提出するよう求める請願」が提出されました。

共産党県議団は、すべての請願の紹介議員となり賛成しましたが、私学予算・充実を求める3件の請願以外は他会派の賛同が得られず採択されませんでした。

なお、「『水産改革関連法案の慎重審議を求める意見書』の採択を求める請願も提出されました。法案が成立したため取り下げました。



わしの議員、しもおく議員だけが④～⑦の請願に賛成(起立)しました

正規職員も精神障害者枠での採用を 人事課に申し入れ

共産党県議団は、12月19日、県職員の障害者雇用の促進について人事課に申し入れを行いました。

県の知事部局の障害者雇用率は2.77%と法定雇用率の2.5%を上回っていますが、正規職員については精神障害の採用枠がありません。正規職員で精神障害の方は現在9名いますが、すべての方が採用後に精神障害になった方たちです。



精神障害者を差別することなく、採用枠をつくって採用すること、職場での受け入れ体制充実のための職員研修、相談体制などの充実を求めました。

県からは、他県で精神障害者を採用しているところを研究しているとのコメントがありました。精神障害者枠での採用をいつからするかは明言しませんでした。

しもおく議員は、「その人ができる範囲で仕事をやってもらうことが必要」と話し、わしの議員は、「期限を決めて一刻も早く採用を」と訴えました。